

科目名		OA実習			
担当教員		渡邊 美歌		実務授業の有無	
対象学科		建築設備システム科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		OA実習では、企業でも使用率の高いExcelの使用方法を学ぶ。実務で通用するアプリケーション操作を身につけるとともに、後期に予定されている検定試験に全員が合格する事を目標としている。			
学習目標 (到達目標)		アプリケーション操作を身に付ける。検定試験に合格する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		Excel2019クイックマスター基本編・ドリルなどの練習問題集・検定試験問題集			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ネットワーク設定と授業の説明			学校でのインターネット接続設定と授業上の注意などの確認。Office365のインストールと実習データのダウンロード	
2	Excelの基本操作・データの編集			Excelの基本操作、データの編集について学習する。Excelの仕様に慣れることを目標とする。多くの練習問題をこなし、操作の定着を図る。	
3	表の編集・練習問題			Excelでの数式の立て方、書式の付け方を学習する。セル参照を使用した数式の作成ができることを目標としている。	
4	グラフと図形の作成			Excelでのグラフ作成を学習する。グラフと元表の連動、グラフィカルで見やすいグラフ作成を目標とする。	
5	ブックの印刷・関数			Excelにおける印刷機能について学ぶ。また、関数の学習もスタートする。AVERAGE,MAX,MIN関数について理解し、使えることが目標である。	
6	ワークシートの管理・関数			Excelシートの操作について学習する。関数はROUND,ROUNDUP,ROUNDDOWNについて理解し、使用できることが目標である。	
7	関数			Excel関数について学習する。関数はIF,TODAY,DATEDIFについて理解し、使用できることが目標である。	
8	データベース機能			Excelデータベース機能について学ぶ。リストの概念、フィルタ機能について理解する。特に用語をしっかりと覚えることが目標。	
9	検定対策			サーティファイ表計算技能認定試験3級合格のための対策授業を開始する。後期も引き続き対策。	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題			しっかりとアプリケーションスキルを身につけましょう。今までコンピュータをあまり使用したことのない人も心配は無用です。最初は確実に基本を固め、操作に慣れてくる後半には応用や検定に備えながら更に力を高めていきたいと考えています。やるべきことはしっかりこなしながら、メリハリのある授業を！と考えています。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					